

## 安全データシート

ページ: 1/13

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 22. 03. 2024

製品: Citronellyl Acetate / シトロネリルアセテート

バージョン: 6.1

(30035076/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 19.10.2025

### 1. 化学品及び会社情報

**品名:**

Citronellyl Acetate

シトロネリルアセテート

用途: 化学品, 界面活性剤用化合物, 化粧品及び口腔内手入れ用薬剤, 香料物質

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASF ジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

0V0L 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

### 2. 危険有害性の要約

**【化学品のGHS分類】:**

皮膚腐食性/刺激性: 区分2

水生環境有害性 短期(急性): 区分2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分2

**【GHSラベル要素】:**

絵表示又はシンボル:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 22. 03. 2024

製品: Citronellyl Acetate / シトロネリルアセテート

バージョン: 6.1

(30035076/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 19.10.2025



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

H315 皮膚刺激。  
H401 水生生物に毒性。  
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き（安全対策）:

P280 保護手袋を着用すること。  
P273 環境への放出を避けること。  
P264 取扱い後は汚染された体の部分をよく洗うこと。

注意書き（応急措置）:

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。  
P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。  
P391 漏出物を回収すること。  
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、そして再使用する場合には洗濯をすること。

注意書き（廃棄）:

P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

GHS分類に関係しない又は GHSで扱われない他の危険有害性:

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

シトロネリルアセテート

CAS番号: 150-84-5

化審法: (2)-762

労働安全衛生法: (2)-762

#### GHS分類に寄与する成分

## シトロネリル＝アセテート

含有量 (W/W):  $\geq 75\%$  -  $\leq 100\%$ 

CAS番号: 150-84-5

化審法: (2)-762

労働安全衛生法: (2)-762

皮膚腐食性／刺激性: 区分 2

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

## 酢酸ゲラニル

含有量 (W/W):  $> 0\%$  -  $< 1\%$ 

CAS番号: 105-87-3

化審法: (2)-2535

労働安全衛生法: (2)-2535

皮膚腐食性／刺激性: 区分 2

皮膚感作性: 区分 1

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

## 酢酸ネリル

含有量 (W/W):  $> 0\%$  -  $< 1\%$ 

CAS番号: 141-12-8

化審法: (2)-763

労働安全衛生法: (2)-763

皮膚感作性: 区分 1B

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

## シトロネロール

含有量 (W/W):  $> 0\%$  -  $< 0.1\%$ 

CAS番号: 106-22-9

化審法: (2)-258

労働安全衛生法: (2)-258

急性毒性: 区分 5 (経口)

急性毒性: 区分 5 (経皮)

皮膚腐食性／刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 2A

皮膚感作性: 区分 1B

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

化学式: C12 H22 O2

## 4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹸と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。、(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

## 5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

二酸化炭素, 粉末, 泡

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:

炭素酸化物, 有害な蒸気

火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

[追加情報]:

汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。容器を噴霧水で冷却する。

## 6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

十分な換気を確保すること。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。保護具を着用する。保護具に関する情報については安全データシート第8章を参照のこと。蒸気／スプレーを吸入しないこと。

[環境に対する注意事項]:

排水溝等に流出させない。製品を水路や下水道に漏洩させた場合には、役所に報告すること。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 22. 03. 2024

製品: Citronellyl Acetate / シトロネリルアセテート

バージョン: 6.1

(30035076/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 19.10.2025

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 吸着剤 (例: 砂、シリカゲル、酸性バインダー、一般用途のバインダー、おが屑) で吸着させる。

大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

作業場の換気を十分に行う。適切な保護衣および眼/顔面用の保護具を着用すること。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。容器は密閉して保管する。この製品は、刺激の原因になる可能性がある; 接触の都度に手を洗うこと。

安全取扱注意事項:

静電気放電に対する予防措置を講ずること。あらゆる着火源 (熱、スパーク、裸火など) を近づけない。

[保管]

臭気敏感物質: 臭気発生物質から隔離する。

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して、乾燥した涼しい場所に保管する。製品を光に当てない。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

物質固有の職業曝露限界値は知られていない。

【保護具】[呼吸用保護具]:

高濃度に対して、または長時間有効な適切な呼吸保護具: 有機化合物 (沸点65°C以上) のガス/蒸気用ガスフィルターEN 14387 A型

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN ISO 374-1) (保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること): ニトリルゴム (0.4 mm)、クロロプレンゴム (0.5 mm)、ブチルゴム (0.7 mm) など。

補足: 仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため (温度など)、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりかなり短いと考えなければならない。

種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡 (フレームゴーグル) (例 EN 166)

## [皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

## [一般的な安全及び衛生対策]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。所定の保護具に加えて、上下一体型作業衣の着用が必要である。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。作業場では飲食や喫煙をしない。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。作業服は、他の物と分けて保管すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体	
色:	無色、透明	
臭い:	花のような香り, フルーティな香り	
臭いのしきい値:	< 100 ppm	
pH:	4.4 (0.0159 g/l, 20 ° C)	(pH計)
融点:	< -100 ° C	(OECDテストガイドライン 102)
沸点:	239.8 ° C (1,013 hPa)	(測定)
引火点:	93.5 ° C	(ASTM D93, 密閉式)
蒸発率:	値は、ヘンリー則定数もしくは、蒸気圧から類推することができる。	
可燃性 (固体/ガス):	ほとんど可燃性でない	(引火点から導きだした)
爆発下限界:	0.6 % (V) (90.7 ° C)	(大気)
爆発上限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。	
自然発火温度:	235 ° C	(DIN 51794)
熱分解:	>= 390 ° C 表示の温度範囲では、発熱分解は起こらない。	(DSC (DIN 51007))
自己発火性:	構造特性から、この製品は、自己発火性に分類されない。	試験の種類: 室温において自然発生する自己発火性。
自己発熱性:	自己発熱性物質ではない。	
SADT:	試験は、科学的に正当化されていない。	
爆発危険有害事項:	化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。	

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 22. 03. 2024

製品: Citronellyl Acetate / シトロネリルアセテート

バージョン: 6.1

(30035076/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 19.10.2025

火災を引き起こす性質: 構造的長に基づき、製品は酸化剤に分類されない。

蒸気圧: 0. 0197 hPa (測定)  
(20 ° C)  
外挿値, 動的

密度: 0. 888 g/cm<sup>3</sup>  
(20 - 25 ° C)  
文献データ  
0. 862 g/cm<sup>3</sup>  
(55 ° C)

相対密度: 0. 888  
(25 ° C)  
文献データ

相対ガス密度 (空気): 6. 83 (算出)  
(20 ° C)  
空気より重い。

水に対する溶解性:  
15. 9 mg/l  
(25 ° C)

溶解度 (定性的) 溶媒: 有機溶媒  
可溶

n - オクタノール/水分分配係数 (log Pow): 4. 9 (EU指令 92/69/EEC, A. 8)  
(25 ° C)

吸着/水-土壌: K<sub>OC</sub>: 2409; log K<sub>OC</sub>: 3. 382 (算出)  
表面張力:

化学構造に基づき、表面活性は期待できない。

粘度: 2. 37 mPa. s (OECD 114)  
(20 ° C)  
この値は、測定された動粘度に基づいて算出された。

1. 58 mPa. s (OECD 114)  
(40 ° C)

この値は、測定された動粘度に基づいて算出された。

動粘性率: 2. 66 mm<sup>2</sup>/s (OECD 114)  
(20 ° C)  
1. 81 mm<sup>2</sup>/s (OECD 114)  
(40 ° C)

モル質量: 198. 31 g/mol

## 10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解:

$\geq 390^{\circ}\text{C}$  (DSC (DIN 51007))

表示の温度範囲では、発熱分解は起こらない。

[混触危険物質]:

酸化剤

金属の腐食:

金属に対する腐食性はないと予測される。

[危険有害な分解生成物]:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:

通常の実用条件下で危険分解物なし。

化学安定性:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

## 11. 有害性情報

### ばく露経路

#### 急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): 6,800 mg/kg

#### 急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ウサギ (経皮):  $> 2,000$  mg/kg

#### 急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

#### 症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

#### 刺激性

刺激性作用の評価:



皮膚接触により刺激を生じる。眼刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性あり。(OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン405)

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

動物実験では、皮膚感作性は認められなかった。人において、コントロールされた医学的研究は、皮膚感作効果を示さなかった。

実験または計算によるデータ:

Buehler法 モルモット: 感作性なし (OECDテストガイドライン406)

ヒトにおけるMaximization試験 ヒト: 感作性なし

### 生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

数多くの試験（バクテリア／微生物／培養細胞）においては、変異原性は認められなかった。In vivo試験においても、変異原性は認められなかった。この製品は、完全には試験が行われていない。これらの記述は、類似の構造もしくは、類似の組成の製品から得られたものである。

### 発がん性

発がん性の評価:

この物質が強制経口投与されたラット及びマウス長期試験では、発癌性は認められなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

### 生殖毒性

生殖毒性の評価:

動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

### 発生毒性

催奇形性の評価:

動物実験では、催奇形性を示さなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

### 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

入手可能なデータに基づく、分類基準に該当しない。

### 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

動物への反復投与試験の後、物質特有の臓器毒性は、観察されなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

### 誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対し急性毒性を示す。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 6.1 mg/l, ゼブラフィッシュ (学名: *Brachydanio rerio*) (OECDテストガイドライン 203, 半止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 3.48 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (OECDテストガイドライン 202-1, 半止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。この物質の試験溶液への溶解性は低い。これまでは飽和溶液の試験が行われていない。

水生植物:

EC50 (72 h) > 7.2 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Desmodesmus subspicatus*) (OECDテストガイドライン 201, 止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。

無影響濃度 (72 h) 2.22 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Desmodesmus subspicatus*) (OECDテストガイドライン 201, 止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。

微生物/活性汚泥への影響:

EC20 (20%影響濃度) (30 min) > 1,000 mg/l, 活性汚泥 (OECDテストガイドライン 209, 好気性)

魚類に対する慢性毒性:

魚毒性に関するデータなし。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

ミジンコに対する毒性については、データなし。

陸生生物に対する毒性の評価:

## 移動性

環境区分間の輸送評価:

水面から大気中へ急速に揮発する。

土壌の固相に吸着すると考えられる。

## 残留性・分解性

除去情報:

93 % 理論値と比較した二酸化炭素発生量 (28 日) (OECDテストガイドライン 310) (好気性, 家庭廃水由来の活性汚泥、順化済み)

水中での安定性評価:

物質は水と接触すると徐々に加水分解される。

水中における安定性に関する情報 (加水分解):

$t_{1/2}$  4, 101 h (20 ° C, pH 4), (OECDテストガイドライン 111, pH 4)

$t_{1/2}$  2, 523 h (25 ° C, pH 4), (OECDテストガイドライン 111, pH 4)

$t_{1/2}$  8, 191 h (20 ° C, pH 7), (OECDテストガイドライン 111, pH 7)

$t_{1/2}$  4, 905 h (25 ° C, pH 7), (OECDテストガイドライン 111, pH 7)

$t_{1/2}$  337 h (20 ° C, pH 9), (OECDテストガイドライン 111, pH 9)

$t_{1/2}$  185 h (25 ° C, pH 9), (OECDテストガイドライン 111, pH 9)

## 生体蓄積性

生体蓄積性:

データなし。

## 13. 廃棄上の注意

国のまたは地方の法定事項に従うこと。

## 14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

国連番号もしくはID番号: UN 3082

品名 (国連輸送名): 環境有害性物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く。)  
(シトロネリル アセテート)

国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 9, EHSM

容器等級:

III

環境有害性:

該当

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 22. 03. 2024

製品: Citronellyl Acetate / シトロネリルアセテート

バージョン: 6.1

(30035076/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 19.10.2025

使用者への特別注意事項: 知見なし

#### 海上輸送

IMDG

国連番号もしくはID番号: UN 3082

品名（国連輸送名）: 環境有害性物質（液体）（他に品名が明示されているものを除く。）（シトロネリルアセテート）

国連分類（輸送における危険有害性クラス）: 9, EHSM

容器等級: III

環境有害性: 該当  
海洋汚染物質: 該当

使用者への特別注意事項: EmS: F-A; S-F

#### Sea transport

IMDG

UN number or ID number: UN 3082

UN proper shipping name: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (CITRONELLYL ACETATE)

Transport hazard class(es): 9, EHSM

Packing group: III

Environmental hazards: yes  
Marine pollutant: YES

Special precautions for user: EmS: F-A; S-F

#### 航空輸送

IATA/ICAO

国連番号もしくはID番号: UN 3082

品名（国連輸送名）: 環境有害性物質（液体）（他に品名が明示されているものを除く。）（シトロネリルアセテート）

国連分類（輸送における危険有害性クラス）: 9, EHSM

容器等級: III

環境有害性: 該当  
使用者への特別注意事項: 知見なし

#### Air transport

IATA/ICAO

UN number or ID number: UN 3082

UN proper shipping name: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (CITRONELLYL ACETATE)

Transport hazard class(es): 9, EHSM

Packing group: III

Environmental hazards: yes  
Special precautions for user: None known

指針番号: 171

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

#### [追加情報]

5 L以下の正味量を含むパッケージの製品には、次の規定が適用される場合がある。

ADR、RID、ADN：特別規定375；

JT/T617.3；

IMDG：2.10.2.7；

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 22. 03. 2024

製品: Citronellyl Acetate / シトロネリルアセテート

バージョン: 6.1

(30035076/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 19.10.2025

IATA : A197;

TDG : 特別規定99 (2) ;

49CFR: セクション171.4 (c) (2)

## 15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 非水溶性

消防法

消防法 第4類 引火性液体

03 2004

指定数量 : 2000 リットル

III

第4類第3石油類・非水溶性

### その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

## 16. その他の情報

他の用途については、製造業者に問い合わせること。対応する職場作業員保護措置に従うこと。

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。